

防食保護施工要領

防食保護工

(1) 素地調整

素地調整は、電動工具・手ケレンを併用して、錆部、塗膜の劣化部・塵埃・異物の除去を行い、マジックロン・ウエス等で清掃する。(ケレン3種A程度)

(2) FRS防食ペースト塗布

素地調整完了後、手袋又はウエス等で、塗に残し、気泡等むらのないよう均一に塗布する。

(3) FRS防食マスチック充填

補剛水管橋、伸縮管、フランジ部等の異形部については、凸凹を滑らかにするため、隙間・角部をマスチックで充填し、後続作業が容易且つ、確実に作業できるため、形状を整える。

(4) FRS防食テープ巻き

FRS防食テープは、耐熱性 70℃以上のペトロラタム（カバーコートタイプ）を使用する。カバーコートタイプ防食テープの突き合せ部分は、防食テープの下貼りを行い、二重とする。貼り付け後、空気を残さないように、小幅ローラー等を利用して撫で付けを行い、管体に密着させる。

(5) ポリエステル補強繊維巻き

前期(4)工程完了後、ポリエステル補強繊維を 20%程度ラップさせて、しわにならないように巻きつけ又は、貼り付けを行う。

(6) 外装保護材FRS (NF) 下塗り

補強繊維取付け面に、FRSコート下塗り材をローラー刷毛にて塗布し、乾燥後2層目を塗布する。塗料は、アクリル系樹脂塗料を使用し2回塗りとする。

(7) 外装保護材FRS (NF) 中塗り

下塗り材乾燥後、FRSコート中塗り材をローラー刷毛にて塗布し、乾燥後2層目を塗布する。塗料はアクリル系樹脂塗料を使用し2回塗りとする。

(8) 外装保護材上塗り

中塗り材乾燥後、トップコート上塗り材をローラー刷毛にて塗布する。塗料は、シリコン樹脂系塗料を、200g/m²程度塗布する。